

大野市民憲章

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。

純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と、雪国特有のねばり強さで、今日の繁栄を築いてきました。

私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目指して、市民憲章を定めます。

1 みずみずしさあふれるまちに

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

2 小さな芽が伸びるまちに

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

3 大きくはばたくまちに

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

4 あたたかい心のかようまちに

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

5 明るくやすらぎのあるまちに

私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

(昭和53年10月告示)

大野市教育理念

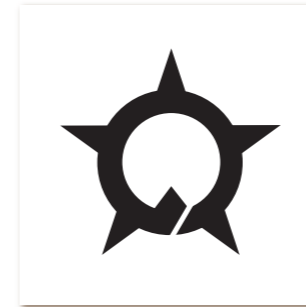
～明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人～

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

平成21年3月 大野市教育委員会

市紋章



昭和29年7月の市制施行時に定めた紋章です。

これは、大の(大野)を図案化したものです。

円は和と団結を象徴し、円満なる市政の運用を意味しています。

剣尖は大野市の将来の発展性を象徴しています。

大野市シンボルマーク

市制施行40周年を記念して、平成7年4月に定めたシンボルマークです。

日本百名山の「荒島岳」と「緑の自然」を三角形で、名水百選の「御清水」と「空の躍動感」をフリーハンドの毛筆体で、そして「大野市の未来に輝く太陽」を円形で表現し、大野市の「大」と「市民」をデザインしたものです。

赤・青・緑の色は、活力・発展性・創造性を表します。



大野市の花・木・鳥・魚

